

令和 6 年 度

事業並びに会務報告

— 令和 7 年 6 月 —

一般社団法人 松本市医師会

令和6年度 事業並びに会務報告

— 目 次 —

はじめに	3	感染症対策部	16
各 部		1. 予防接種事業	
庶務・厚生部	4	2. 感染症対策	
1. 会 員		3. 松本市小児科・内科夜間急病セン ターの管理運営	
2. 会 議		4. 委員会・会議	
3. 文 書		5. 総 括	
4. 公衆衛生活動		学校保健衛生部	18
5. 松本市地域包括医療協議会の 活動・運営		1. 活動・運営・シンポジウム	
6. 総 括		2. 保育園・幼稚園・児童・生徒の 健康管理に関する事項	
会計部	7	3. その他	
1. 会員相互扶助・会員福祉事業		4. 総 括	
2. その他		老人保健福祉部	20
3. 総 括		1. 松本市城山介護老人保健施設	
保険部	8	2. その他	
1. 保険診療に関する事項		3. 総 括	
2. 保険医の指導に関する事項		産業衛生部	23
3. その他		1. 活動・運営	
4. 総 括		2. その他	
学術部	9	3. 総 括	
1. 会員研修活動		検査検診部	24
2. その他		1. 検査件数	
3. 総 括		2. 主要記録	
広報部	11	3. 学会・研修会、講習会	
1. はじめに		4. 「検査健診センターニュース」 の発行	
2. 委員の構成		5. 「臨床検査医ノート」の発行	
3. 委員会活動・運営状況		6. 冊子の発行	
4. 定例協議事項		7. 委員会・各検討会開催	
5. 主な業務		8. 総 括	
6. 特集記事		看護学校部	35
7. 総括と今後の課題		1. 業務報告	
救急災害医療部	13	2. 学生研修	
1. 初期救急医療に関する事項		3. 職員研修	
2. 二次・三次救急医療に関する事項		4. まとめ	
3. 災害医療に関する事項		5. 総 括	
4. その他		松本市医師会主要行事	39
5. 総 括			
医療連携部	14		
1. 医療連携に関すること			
2. 出産・子育てに関する医療体制に ついて			
3. 地域包括ケアの推進に関しての多 職種連携			
4. ICTを活用した地域医療連携シス テムの利用促進			
5. 松本市フレイル予防の推進			
6. その他			
7. 総 括			

は じ め に

会長 花 岡 徹

令和 6 年度事業報告にあたり、緒言を申し上げます。

松本市から委託されている松本市城山介護老人保健施設は、平成 29 年度から利用料金独立採算制に移行して事業を継続してきました。当初の 5 年契約が終了する令和 3 年度末までに職員退職積立金を積み立てる計画だったものの、永年勤続職員の退職が重なったことや、コロナ禍の影響、さらには 5 類移行後も、他施設からの通所者さんが外出制限により減少している状況、施設での看取り数の減少などの要因で、積み立てが思うように出来ませんでした。本年度に関しては、通常の職員退職金の積み立てが出来なかったのみならず、本体会計で赤字の状況に陥ってしまいました。この減収の要因が職員の努力不足等によるものでないことは明らかですので、賞与の減額も最小限にとどめてきましたが、経費削減も限界に至り、また城山老健施設の賞与の支給率は、近隣の同様の施設の支給率の約 2 倍である事も判明し、経営改善には大幅な賞与の減額を行わなければならないという結論に至りました。本年度は 2 回目の指定管理の 5 年契約の 3 年が経過したこととなりますが、新施設長の下、ベッド稼働率の向上を含め大規模な改革が必要となります。

コロナ禍では松本市医師会検査健診センターも人間ドックなど健診者の減少は顕著でした。また職員の産休・育休も重なり検体検査部門が十分機能せず、一部検査の外注を余儀なくされるという状況が発生していましたが、極力センター内で検査が行われるよう配慮し、ご迷惑をおかけすることの無いようにしてまいりました。ここ数年は、MInCS 利用による検査データの双方向オンライン化、経営改善モニタリングによるアクションプランの策定と分析・評価等を行っており、経営状況は改善しております。センター職員の協力を得て、今後一層の経営改善に向けて努めてまいります。

松本看護専門学校は、今年度も看護師国家試験の合格率 100%は達成出来ませんでしたが、何とか 90%以上は達成されております。県内 6 カ所に増えた看護大学・看護学部の影響を受け、医師会立の看護専門学校はいずれも入学生の定員割れが生じ、経営困難な状況です。松本看護専門学校も令和 7 年度は新入生 35 名でのスタートとなりました。以前より提言しております「心の折れない授業」「教務室内の融和」を心がけ、看護師国家試験全員合格を目指しています。

一昨年末、夜間急病センターに出務していただいている小児科医の高齢化等により小児科医不足が進行している状況に加え、令和 6 年度から施行された「医師の働き方改革」による時間外勤務の制限などから、病院勤務医が急病センターへ出務出来ない状況も起こり得ることになり、次年度以降の診療体制維持が困難な状況となってきました。コロナ禍で一時中断していた診療終了時間 1 時間前倒しの検討を再開し、小児科医会、内科医会の合意を得たうえで、二次輪番病院の先生方との協議をし、了承が得られたことから、昨年 10 月 15 日の松本市議会厚生委員協議会でこの案件が検討され、令和 7 年 4 月からは診療終了時間を午後 10 時に 1 時間前倒しして夜間急病センターの運営を継続することが了承され実施されています。

一方、休日の一次救急当番医体制につきましても、関係各科の継続には限界が来ている状況が明らかになってきました。この一次救急のひっ迫状況への対応は、令和 7 年度の松本広域圏救急災害医療協議会総会で了承を得るために、各医会と理事会により調整し、松本市福祉政策課との協議を経て早急に変更を考えていかなければならない状況にあり、理事会・救急災害医療委員会で継続審議中です。

ここに記載させていただいた事例は、松本市医師会の活動のほんの一部にすぎません。今後も理事会、各委員会委員および職員が一丸となり、会員の皆様のため、松本市民の医療・福祉・健康の向上のため、鋭意努力精進してまいります。

このような環境の中で、令和 6 年度（2024 年度）一般社団法人松本市医師会事業報告及び決算書を各委員会理事会の審議を経て作成致しました。精査ご審議をお願い申し上げます。

会員諸氏の日々の診療並びに医師会活動への真摯な取り組みとご尽力に心から敬意と御礼を申し上げます。

各部

庶務・厚生部

1. 会 員 (令和7年3月31日付)

正会員：440名、準会員：75名 合計：513名

〈令和6年度入会会員〉

桑原宏一郎	令和 6 年 4 月 1 日	正	酒井一樹	令和 6 年 8 月 1 日	準
市江雅芳	令和 6 年 4 月 1 日	正	森本修史	令和 6 年 8 月 1 日	準
馬場 淳	令和 6 年 4 月 1 日	準	都筑大祐	令和 6 年 8 月 1 日	準
野田真沙衣	令和 6 年 4 月 1 日	準	矢満田健	令和 6 年 8 月 1 日	準
元木博彦	令和 6 年 4 月 1 日	正	大岩亜子	令和 6 年 8 月 1 日	準
小林健二	令和 6 年 4 月 1 日	正	大澤隆世	令和 6 年 8 月 1 日	準
木野田文也	令和 6 年 4 月 1 日	正	林 有莉	令和 6 年 9 月 1 日	準
小林茂昭	令和 6 年 6 月 1 日	正	浅岡美保	令和 6 年 10 月 1 日	正
片岡 祐	令和 6 年 6 月 1 日	正	中村麗那	令和 6 年 12 月 1 日	準
陶山沙貴	令和 6 年 7 月 1 日	正	酒井 慧	令和 7 年 1 月 1 日	正
上野晃弘	令和 6 年 8 月 1 日	正	古舘大樹	令和 7 年 2 月 1 日	正
手計勇哉	令和 6 年 8 月 1 日	準	田中宏和	令和 7 年 3 月 1 日	正

〈令和6年度異動会員〉

平林一貴	令和 6 年 4 月 1 日	勤→管	井門祐一郎	令和 6 年 8 月 1 日	勤→管
若林真澄	令和 6 年 4 月 1 日	管→勤	井門慎介	令和 6 年 8 月 1 日	管→勤
塚田昌大	令和 6 年 4 月 1 日	施設異動	伊藤京子	令和 6 年 8 月 1 日	施設異動
小林信や	令和 6 年 4 月 1 日	管→勤	本田孝行	令和 6 年 4 月 1 日	施設異動
佐藤吉彦	令和 6 年 4 月 1 日	勤→管	大野和幸	令和 6 年 12 月 1 日	勤→管
中村雅彦	令和 6 年 4 月 1 日	管→勤	大野英仁	令和 6 年 12 月 1 日	管→勤
武井洋一	令和 6 年 4 月 1 日	勤→管	伊藤公夫	令和 6 年 11 月 1 日	施設異動
小池祥一郎	令和 6 年 4 月 1 日	管→勤	平林和子	令和 6 年 10 月 1 日	勤→管
野口真由美	令和 6 年 4 月 1 日	勤→管	小池秀夫	令和 6 年 10 月 1 日	管→勤
河野由起	令和 6 年 5 月 1 日	施設廃止	上野晃弘	令和 6 年 12 月 1 日	施設開業
中村公俊	令和 6 年 4 月 1 日	施設異動	神應太朗	令和 7 年 2 月 1 日	勤→管
中村道紀	令和 6 年 4 月 1 日	施設異動	神應 裕	令和 7 年 2 月 1 日	管→勤
桐井 靖	令和 6 年 4 月 1 日	施設異動	丹羽知之	令和 7 年 3 月 19 日	勤→管

〈令和6年度退会会員〉

鈴木陽太	令和 6 年 3 月 31 日	準	松本有機	令和 6 年 7 月 31 日	準
城下奈央	令和 6 年 3 月 31 日	準	丹羽康平	令和 7 年 3 月 18 日	正 (逝去)
北澤玲子	令和 6 年 3 月 31 日	正	市江雅芳	令和 7 年 3 月 31 日	正
川真田樹人	令和 6 年 3 月 31 日	正	都筑大祐	令和 7 年 3 月 31 日	準
藤田識志	令和 6 年 3 月 31 日	準	伴 碧	令和 7 年 3 月 31 日	正
小穴正治	令和 6 年 4 月 24 日	正 (逝去)	伴 緑也	令和 7 年 3 月 31 日	正
藤木嘉人	令和 6 年 5 月 4 日	正 (逝去)	関口健二	令和 7 年 3 月 31 日	準

2. 会 議

1) 総 会

○ 第78回松本市医師会定時総会

日 時：令和6年6月8日（土）午後2時

場 所：松本市医師会館 3階講堂

1. 開 会

1. 物故会員に対する黙祷

1. 新入会員の紹介

1. 表彰式 ～叙勲・大臣表彰・職員永年勤続表彰 表彰委員会報告～

1. 議長登壇 ～議事録署名委員指名～

1. 選挙 松本市医師会欠員理事 1名

1. 会長挨拶

1. 令和5年度松本市医師会事業並びに会務報告

1. 議 事

第1号議案 令和5年度松本市医師会歳入歳出決算に関し承認を求むる件

第2号議案 令和5年度松本市医師会諸会計決算に関し承認を求むる件

第3号議案 松本市医師会理事の選任に関し承認を求むる件

第4号議案 松本市医師会定款施行細則改定に関し承認を求むる件

1. 報告事項

(1) その他

1. 議長降壇

1. 表彰式 ～退任役員表彰 表彰委員会報告～

1. 閉 会

○ 松本市医師会臨時総会

日 時：令和7年3月18日（火）午後7時

場 所：松本市医師会館 3階講堂

1. 開 会

1. 新入会員の紹介

1. 議長登壇 ～議事録署名委員指名～

1. 選 挙

議長1名、副議長1名、松本市医師会役員～理事16名、補欠監事1名

長野県医師会代議員11名、予備代議員11名

1. 会長挨拶

1. 議 事

第1号議案 令和7年度松本市医師会費免除会員に関し承認を求むる件

第2号議案 令和7年度松本市医師会費賦課徴収(案)に関し承認を求むる件

第3号議案 令和7年度日本医師会費並びに長野県医師会費賦課徴収(案)に関し承認を求むる件

1. 報告事項

(1) 令和7年度松本市医師会事業計画について

(2) 令和7年度松本市医師会歳入歳出予算について

(3) 長野県医師会第221回臨時代議員会報告

(4) 日医生涯教育制度について

(5) 松本市小児科・内科夜間急病センター利用状況等について

(6) その他

1. 閉 会

2) 理事会 24回

3. 文 書

1) 接受文書：1,455件

・長野県医師会（1,195件）、日本医師会（26件） 1,221件

・官公庁、その他	234 件
2) 発送文書：78 件	
・会員宛通知（第 1 号～152 号）	50 回
・公文書、その他	28 件

4. 公衆衛生活動

- 1) 乳幼児健診
4 か月・10 か月・1 歳 6 か月・3 歳児健診…240 回
- 2) 胃集団検診読影数（健康づくり事業団）…デジタル：350 人
- 3) 献血活動 健診医推薦回数…0 回

5. 松本市地域包括医療協議会の活動・運営

松本市地域包括医療協議会は市民の健康増進等の充実整備を図ることを目的に、現在 10 団体（会長：松本市医師会長、事務局：松本市医師会館内）で構成されています。

ここに令和 6 年度の活動状況等について、以下のとおり概要を報告します。

- 1) 幹事会及び協議会（総会）の開催 30 名出席
期 日：令和 6 年 8 月 6 日（火） 於：松本市医師会館
幹事会 午後 6 時 30 分～ 協議会総会 午後 7 時～
内 容：役員等の一部変更について
協議事項 (1) 令和 5 年度事業報告について
(2) 令和 5 年度決算書について ～監査報告～
(3) 令和 6 年度事業計画（案）について
(4) 令和 6 年度予算書（案）について
～以上について承認された。～
- 2) その他
 - ・第 27 回松本市三権運動推進市民大会への参画、啓発事業に参加・協力した。
 - ・松本広域圏救急・災害医療協議会への協力を行った。

6. 総 括

担当理事 小 林 正 典

会務・庶務全般の正確かつ円滑な処理に努めた。新規入会・開業の際は医師会活動への積極的な協力を要請した。また、松本市役所、松本市保健所等と連携し、諸問題に対して適切な対応を心掛けた。

新型コロナ禍の間は開催を見送っていた総会懇親会だが、令和 5 年度に会員のみで開催したのに続き、令和 6 年度は久しぶりに来賓を招いた形で開催した。その他の懇親会も概ね新型コロナ禍以前と同様に開催されるようになり、理事会や委員会等の諸会合の大半は対面式で行われた。また、令和 7 年 5 月 10 日には、新型コロナ禍で開催できなかった新医師会館竣工記念祝賀会の代替として竣工記念のヴァイオリンとピアノによるデュオ・リサイタルを開催した。

事務局の現況としては、65 歳を迎えたことにより令和 7 年 3 月末に降旗賢治事務局長が退任し（円滑な業務移行を行うため、局長補佐として令和 8 年 3 月末まで雇用延長）、丸山徹課長が新事務局長となった。新事務局長以下 10 名の事務局常勤職員で令和 7 年度も日常業務を行っていく所存であるので、会員諸氏の温かいご指導を賜れば幸いである。

庶務・厚生業務は多岐にわたり、かつ膨大で、時に困難な事例も存在するが、会員諸氏の協力をいただき活動ができたことを総括する。

会 計 部

1. 会員相互扶助・会員福祉事業

○日本医師会医師賠償責任保険	259 人		
○日本医師会医師年金	加入 46 人、受給 56 人		
○長野県医師賠償責任保険	182 件		
○長野県医師所得補償保険、新・医療保険	所得補償 60 人、医療保険 5 人、ロングサポートコース 3 人		
○長野県医師災害互助会	24 人		
○長野県医師国民健康保険組合			
第一種組合員（医師）	159 人	特別組合員	18 人
世帯員（家族）	289 人	第二種組合員（従業員）	401 人
○長野県医師グループ保険			
会員	20 人	配偶者他	3 人
○松本市医師会互助会	220 人		
○生命保険団体契約			
第一生命	18 人		
○労働保険事務組合			
委託医療機関数	98 件	加入従業員数	656 人
○小規模企業共済（事業主の退職金制度）	1 人		

2. その他

- 1) 委員会等開催状況
経済委員会 6 回

3. 総 括

担当理事 永 田 征 士

令和 6 年 5 月委員会において定例報告（入職者 5 名、退職者 4 名、固定資産購入報告）。令和 5 年度決算報告について審議承認。定款施行細則の免除会員を現行の満 80 歳から 83 歳への引き上げと、医学部卒後 5 年以内の会費免除を理事会へ上申することを了承した。令和 6 年 6 月委員会において丸山税理士ご逝去により後任顧問税理士事務所選定について、複数の税理士事務所からプレゼンテーションを受け、未来経営とすることを理事会へ上申することが了承された。令和 6 年 9 月委員会において定例報告（入職者 2 名、退職者 2 名）。継承負担金は 3 親等以内と一人医療法人以外の法人管理者交代は 150 万円へ引き上げることで理事会へ上申することが了承された。パート職員の最低賃金は 1,000 円へ引き上げることが了承された。令和 6 年 12 月委員会において定例報告（退職者 1 名、固定資産購入報告）。令和 7 年度事業計画案について審議承認。令和 7 年 2 月委員会において定例報告（入職者 2 名、退職者 3 名）。令和 7 年度各部予算要望について審議承認。令和 7 年度会費徴収案について審議承認。継承負担金の変更を総会へ議案上程することを了承した。令和 7 年 3 月委員会において定例報告（固定資産購入報告）。令和 7 年度予算書案の審議承認。インボイス制度の現況報告続報。継承負担金の変更の議案上程は 6 月総会となることが報告された。

来期の課題として令和 7 年度予算は現金収支では約 2,500 万円の黒字予算ではあるが、新医師会館建設に伴う長期償却資産があるため損益計算書上ではマイナスとなります。収入の柱は会費、検査検診センター、城山老健となるが、城山老健は退職金積立が思うように積み立てておらず今期は現金収支でも赤字決算となったため職員賞与については検討することとなりました。そのため収入はもっぱら検査検診センターの業績に頼らざるを得ない状態となっています。継承負担金については今まで 90 万円が本会からの持ち出しとなっており、これをゼロベースと是正しました。インボイス制度による多額の消費税負担は市との 3 者契約（その後 2 者契約へ変更）で回避できました。また市からの補助金は昨年度から要望の場が設けられたことから市民のための適正なものを要望し、また今後経費節減など収支のバランスはこれまでと同様に必要となると思われます。

保 険 部

1. 保険診療に関する事項

- 1) 定例の保険委員会の議事の要点を松本市医師会報に委員会記録として掲載した。
- 2) 松本市小児科・内科夜間急病センターのレセプト点検を行ない適宜修正し、保険診療上の注意点について出務医にフィードバックした。
- 3) 厚生労働省、日本医師会、長野県医師会からの保険関係文書の内、会員にとって重要と考えられるものや、保険診療で注意すべき事項を選び、「保険関係」あるいは「保険ニュース」として通知した。

2. 保険医の指導に関する事項

- 1) 新規開設および継承時の松本市医師会保険指導
新規開設および継承時に松本市医師会保険委員会として、関係科保険委員が個別に保険指導を行った。
- 2) 県・関東信越厚生局による個別指導への立ち合い
新規開設および継承時の個別指導 0 件
高点数による選定個別指導 3 件
特定共同指導 1 件

3. その他

- 1) 委員会等開催状況
保険委員会 11 回 (Hybrid 形式)

4. 総 括

担当理事 藤 原 健 志

保険診療に関する会員の先生方からの疑義に対し、関係科保険委員が対応、回答を行いました。
新規開業時および継承開業時の関係科保険委員による医師会保険指導を行いました。また、県・関東信越厚生局長野事務所による個別指導の立ち会いとその後の指導後指導を行いました。特に問題となるような医療機関はありませんでした。

令和6年の診療報酬改定で、高血圧や糖尿病、ほとんどの高脂血症が特定疾患の対象から外され、生活習慣病に移行しました。その他、医療DX加算、ベースアップ加算等、医療機関にとって、手間のかかる、特に内科系の先生方には厳しい改定となりました。今後も同様の傾向が続くものと予想されます。しかしながら、保険診療を行う以上、適切な算定を行う必要があります。今後とも社保・国保審査委員の先生方や県保険部と連携しながら、会員の皆様に少しでもわかりやすいよう、情報提供できればと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

学 術 部

1. 会員研修活動

1) 学会関係

・第 133 回中信医学会

日 時：5 月 18 日（土）

場 所：松本市医師会館（ハイブリッド開催）

ミニレクチャー：メディア機器接触と乳幼児の発育発達（赤ちゃんの脳が危ない！？）

講 師：みやばやしこどもクリニック 院長 宮林麻里 先生

特別講演：信州から世界に発信した側弯症の新知見

講 師：信州大学医学部 運動機能学教室 教授 高橋淳 先生

・第 134 回中信医学会

日 時：10 月 19 日（土）

場 所：中信会館 ベルヴィーホール（対面開催）

特別講演：NAFLD から MASLD へ：これだけは押さえておきたい脂肪肝診療のコツ

講 師：信州大学医学部 国際交流推進室 国際医学研究推進学教室
教授 田中直樹 先生

2) 生涯教育講座

<令和 6 年>

第 938 回 4 月 25 日（木）【第 34 回 Web Lecture】

特別講演：HPV ワクチンの定期接種・キャッチアップ接種の推進に向けて

講 師：公立大学法人 横浜市立大学医学部 産婦人科学教室
主任教授 宮城悦子 先生

第 939 回 5 月 23 日（木）【第 35 回 Web Lecture】

特別講演：一本の道に繋がっていくアレルギー診療

～できるだけ早くアシテア S L I T（舌下免疫療法）へたどり着くために～

講 師：成城ささもと小児科アレルギー科 笹本明義 先生

第 940 回 6 月 27 日（木）【第 36 回 Web Lecture】

特別講演：透析患者への TAVI（経カテーテル大動脈弁治療）適応拡大
～非透析症例との違い～

講 師：信州大学医学部附属病院 循環器内科 講師 三枝達也 先生

第 941 回 7 月 11 日（木）【第 37 回 Web Lecture】（循環器カンファレンスと共催）

特別講演：心血管イベント抑制に向けた総合的脂質管理の重要性

講 師：熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学 教授 辻田賢一 先生

第 942 回 9 月 26 日（木）【第 38 回 Web Lecture】

一般演題：治療可能なアミロイドーシスを見逃さないために

～循環器内科医からみた早期診断への Check Point～

講 師：信州大学医学部 循環器内科学講座 吉江幸司 先生

特別講演：その原因アミロイドーシスかも知れません！

～早期診断と医療連携のポイント～

講 師：信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科教授 関島良樹 先生

第 943 回 10 月 24 日（木）【第 39 回 Web Lecture】

特別講演：季節の救急

講 師：相澤病院 救命救急センター 救急科 医長 山本 基佳 先生

第 944 回 11 月 14 日（木）【第 40 回 Web Lecture】

特別講演：成人RSウイルス感染症とワクチンによる予防

講 師：自治医科大学附属さいたま医療センター 呼吸器内科 教授 山口泰弘 先生

<令和7年>

第945回 3月27日(木)【第41回 Web Lecture】(マーゲン読影会と共催)

特別講演：当院における胃検診の実態

講 師：丸の内病院 消化器内科 部長 山本香織 先生

3) 循環器カンファレンス

第275回 4月16日(火)

第276回 7月11日(木) 生涯教育講座と共催

第277回 11月19日(火)

第278回 1月21日(火)

2. その他

1) 委員会等開催状況

学術委員会 11回

中信医学会役員会(書面開催) 2回

3. 総 括

担当理事 有 賀 雅 和

松本市医師会生涯教育講座は新型コロナウイルス感染症の影響で「Web Lecture」という名称でWebによる講演会として開催されてきました。最近では演者の先生が会場で講演され、会場とWebの2通りの聴講を選べるハイブリッド形式での開催が多くなってきました。

令和6年4月から令和7年3月までに計8回の生涯教育講座が開催されました。このうち1回は循環器カンファレンスとの共催であり、もう1回はマーゲン読影会との共催でした。令和7年2月に開催予定であった生涯教育講座は、講師の都合で当日になり突然中止となってしまう、執行部や関係の先生方、参加予定であった会員の先生方、事務局にご迷惑をおかけしてしまいました。今後、運営方法を再考することが必要と思われました。

例年どおり幅広い分野からテーマを取り上げ、会員の先生方の聴講意欲を高めるような演題を採択した効果があり、参加者数は平均55名と昨年度と同程度を維持することができました。Webでの聴講も可能であったため、松本市医師会以外の先生方の参加も平均16名と、長野県内の多くの先生方にご参加いただくことができました。今後も更に多くの先生方にご参加いただけるよう、タイムリーで興味深い演題の選定と、ハイブリッド形式での開催をしていきたいと思えます。

中信医学会は今年度も2回開催されました。第133回中信医学会は松本市医師会が主管でした。ハイブリッド形式で開催され、一般演題4題、ミニレクチャー1題、特別講演1題が行われました。参加者は88名であり、会場にも56名の先生方に足を運んでいただき、活気ある会が開催できました。第134回中信医学会は塩筑医師会が主管であり、同様にハイブリッド形式で開催されました。一般演題13題、特別講演1題が行われ、参加者は79名でした。

循環器カンファレンスはハイブリッド形式で定期的に計4回開催されました。

今年度もハイブリッド形式で生涯教育講座と中信医学会を開催することができました。御尽力いただいた学術委員会の先生方と事務局の方々に感謝を申し上げます。

広 報 部

1. はじめに

広報委員会では、主に「松本市医師会報の編集・発行」と「松本市医師会ホームページの管理・運営」を行っています。会報の重要な役割は、理事会や各委員会の活動を報告し、各部門の毎月のデータを記録として残すことです。あわせて、会員間の親睦を深め、自由な意見交換の場を提供することも大きな目的のひとつです。長年にわたり月刊発行を途切れることなく続けてきたことは、全国的にも珍しく、今後も継続していきたいと考えております。

ホームページは、会報誌とは異なり、松本市民への医療・保健情報の提供や、医師会の活動・関連事業の広報を担う媒体です。具体的には、休日・夜間の当番医情報、医療機関案内、健康増進、疾病予防、防災情報などを掲載しています。会員向けには、医師会内の各種文書やデータの保存・検索の場としても活用されており、常に最新情報を反映させる必要があります。また、外部からのアクセスも想定し、スマートフォンやタブレットなど様々な端末に対応したレスポンスデザインへの改修も進めてまいります。さらに、会員の皆様にとって利用しやすい内容となるよう、ソフト面の充実にも努めたいと考えています。

ポストコロナの時代に入り、社会や組織の仕組み、情報の伝達方法が大きく変化しました。広報活動もその変化に対応し、より効果的に進化していくことが求められています。今後は紙媒体に限らず、さまざまな形での情報発信も模索していく必要があると考えます。

2. 委員の構成

- ・班推薦：8名
- ・理事推薦：2名

3. 委員会活動・運営状況

- ・開催日：毎月第3水曜日
- ・時間：午後7時～
- ・場所：医師会館 第1会議室

4. 定例協議事項

1) 会報の編集・発行

①当月号の確認

- ・レイアウト、内容、誤字脱字などをチェック

②翌月号の準備

- ・原稿を委員全員および担当理事に事前配付し校正
- ・委員会当日は内容、表現、誤字脱字、掲載順、レイアウトを確認
- ・最終的に委員会で発行を承認

③翌々月号の計画

- ・原稿依頼状況、表紙案などを確認

2) ホームページの管理・運営

- ①前月の更新内容、新規記事、問い合わせ、レイアウトなどの確認
- ②掲載記事は随時校正・承認し、翌月の委員会で報告

5. 主な業務

- 1) 委員全員による原稿の校正
- 2) 編集当番による「編集後記」の執筆
- 3) ホームページ内容および新規記事の随時確認と検証

6. 特集記事

<令和7年（2025年）>

- ・2025年1月号：「新春干支特集<巳>」掲載
- ・2025年2月号：「第28回誌上ギャラリー」掲載

7. 総括と今後の課題

担当理事 土肥 庄二郎

本年度は大雪の影響による一部の例外を除き、すべての協議を対面で実施することができました。大きな問題もなく、例年通りの業務を概ね円滑に遂行できたものと考えております。

会報への掲載を見送った投稿はありませんでしたが、「自由な意見交換の場」であることを守り続けるためにも、「言論の自由」と「誹謗中傷」との線引き、ならびに情報の信頼性については、今後も慎重に検討・判断していく必要があると感じています。

今後の広報活動においては、紙媒体にとどまらず、Facebook、Instagram、LINE、YouTube、X（旧Twitter）といったSNSを積極的に活用し、これまでの内向きな情報発信から、市民に向けた外向きの広報へと転換していくことが求められます。医師会のビジョンや価値観を明確に示すことで、市民との関係をより深め、双方向のコミュニケーションを通じて、信頼の構築を図っていきたいと考えています。

その一方で、デジタルメディアの活用には専門的な知識やセキュリティ対応が欠かせず、簡単ではありません。今後も他団体の動向や社会の流れに注意を払いながら、少しずつ着実に取り組みを進めていきたいと思っております。

最後になりますが、広報委員会は会員の皆様からの「声」に支えられております。今後とも変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

救急災害医療部

1. 初期救急医療に関する事項

- ・初期救急の各科当番医表に沿って概ね円滑に行われた。

2. 二次・三次救急医療に関する事項

- ・二次・三次救急医療体制ともに支障なく運用された。

3. 災害医療に関する事項

- ・7月3日（水）に松本市図上防災訓練が実施された。
- ・9月1日（日）に松本市災害時医療救護活動訓練を実施予定だったが、台風による天候悪化により中止となった。
- ・12月20日（金）に信州大学主催の災害医療に関する研修会を開催し、災害時の保健医療福祉活動に向けたBCPとDXについて講演がされた。
- ・2月27日（木）に災害医療勉強会を開催し、被災地での活動報告や保健医療と福祉との連携について報告がされた。

4. その他

以下の会議・訓練・検証会等に参画した。

- 1) 松本広域圏救急・災害医療協議会
 - (ア) 救急災害医療検討委員会
 - (イ) 救急病院等検討委員会
救急病院等の医師・看護師及び救急隊員との意見交換会
 - (ウ) メディカルコントロール委員会ならびにMC事後検証会
 - (エ) ドクターカー等管理運営委員会
- 2) 信州まつもと空港消火救難総合訓練

5. 総 括

担当理事 中 垣 嘉 信

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して1年が経過した。散発的にクラスターの出現はあったものの医療逼迫は見られず、初期・二次・三次救急はいずれも概ね円滑に行われた。一方、初期救急を担う医師の高齢化、医師数の減少、それに輪をかけるように病院勤務医の働き方改革という医療を取り巻く環境の変化により、夜間急病センターの出務時間の短縮が決定した。さらに日曜・休日当番医の負担軽減を求める声が多く、多くの会員から挙がるに至り、今後初期・二次救急体制の再構築が求められている。現在、松本市医師会理事会主導で各医会と二次救急病院の間で、将来にわたり持続可能な救急医療体制の構築について協議・検討中である。

今年度の災害時医療救護訓練は台風接近のため中止になった。その代替に能登半島地震、2019年の台風災害で活躍したお二人の先生の講演による勉強会を行った。お二人ともDMATと保健所長という各々の立場から保健・医療と福祉との連携の重要性を強調された。今後の当地域の災害時医療体制や災害時医療救護訓練の内容、医療救護マニュアルの改訂を考えるうえで多くの示唆を与えられた。

救急医療、災害医療ともに会員各位の協力なしには成しえない。どうかご理解とご協力をいただきたい。

医療連携部

1. 医療連携に関すること

松本市糖尿病性腎症・CKD（慢性腎臓病）重症化予防プログラムにおける CKD シール事業が令和 6 年 4 月より開始された。薬剤の適正使用、CKD の概念を啓発し、患者本人の自覚を促すとともに、生活習慣の改善につなげることを目的としており、今後も発展していくことを期待したい。

2. 出産・子育てに関する医療体制について

1) 令和 6 年度の松本大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会の新規事業として、「出産・子育てアプリ」の開発を進めていくとした。今後もインターネット等を活用して、当協議会の活動を情報発信していく。

2) 市民公開講座は令和 6 年 10 月 27 日（日）に開催され、元サッカー日本女子代表でタレントの丸山桂里奈さんと信州大学医学部保健学科教授の金井誠先生、信州大学医学部小児科の三代澤幸秀先生の講演と、出産・子育て何でも相談会が行われた。安曇野スイス村サンモリッツ会場参加 127 名、Web 視聴者 15 名であった。

3. 地域包括ケアの推進に関しての多職種連携

令和 6 年度は医療連携に関するテーマで講演会または生涯教育講座が企画できなかったもので、来期は計画したいと考えている。

4. ICT を活用した地域医療連携システムの利用促進

オンライン資格確認導入が義務化され、電子処方箋の導入も進められている。マイナンバーカードの健康保険証利用には諸問題はあるが、今後ますます医療 DX（Digital Transformation）が進んでいくため、他の委員会とも連携を取りながら情報提供をしたい。

5. 松本市フレイル予防の推進

1) 令和 6 年度松本市フレイルサポートスタッフ養成研修会が 12 月 1 日（日）に開催された。東京都健康長寿医療センターの鳥羽研二理事長ら講師を招き、研修プログラムを受講し、修了証が発行された。

2) 令和 5 年 4 月から電力スマートメーターフレイル検知事業（電力データを用いたフレイル予防サービス）が市内全域を対象に実施され、令和 6 年 8 月には新 AI に改良された。今後も精度評価に関してはしっかりと見ていこうと思う。

3) 後期高齢者健診を活用したフレイルチェックが令和 6 年度から開始された。フレイルサポート医研修を受けた 10 医療機関の皆さまにご協力いただいた。今後も松本市と協力してフレイル予防についての見識を高め、フレイル外来を有する医療機関との連携を検討したい。

6. その他

委員会等開催状況

- ・医療連携委員会 3 回（令和 6 年 8 月 1 日、11 月 28 日、令和 7 年 4 月 14 日）
- ・松本市フレイルサポートスタッフ研修プログラム：令和 6 年 12 月 1 日（日）松本市大手公民館。
参加者：多職種 32 名（うち医師 4 名）。

- ・松本市フレイル予防推進協議会 3回：令和6年5月31日（金）、11月19日（火）、令和7年3月11日（火）松本市役所で開催。
- ・松本大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会市民公開講座：令和6年10月27日（日）安曇野スイス村サンモリッツ（Web併用）で開催（会場参加127名、Web視聴者15名）。
- ・慢性腎臓病市民公開講座（松本市糖尿病性腎症・CKD重症化予防事業）：令和6年3月9日（日）キッセイ文化ホールで開催（約240名の参加者）。

7. 総 括

担当理事 久保田 充

松本市糖尿病性腎症・CKD重症化予防プログラムにおけるCKDシール事業が令和6年4月より開始され、さらなる発展のため改めてご周知いただきたいと思います。後期高齢者健診を活用したフレイルチェックが令和6年度に初めて実施されました。フレイルサポート医研修を受けた10医療機関の皆さまには感謝申し上げ、今後ともご協力何卒宜しく願いいたします。医療DX（Digital Transformation）が更に推し進められ、マイナンバーカードの保険証利用に始まり、オンライン資格確認が義務化され、電子処方箋導入も進められています。「医療DX令和ビジョン2030」では、全医療機関に電子カルテを導入して情報共有サービスを構築するとしています。国策による医療DXがますます推進されるため、今後も情報発信していきたいと思います。医療と介護を含めた多職種連携を担う委員会であり、来期も引き続き会員皆様のご指導とご協力を賜れば幸甚です。何卒宜しくお願い申し上げます。

感染症対策部

1. 予防接種事業

- 1) 定期予防接種の継続
HPV ワクチン積極的勧奨
- 2) おとなの風しん追加的対策の継続
- 3) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

2. 感染症対策

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策
 - a. 行政機関、近隣医師会、近隣病院と情報を共有し、患者の受診調整、検査体制、外来診療体制、入院医療提供体制など医療連携としての取り組み
 - b. 厚生労働省、日本医師会、長野県医師会からの関連文書について、会員へ通達
 - c. 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備
- 2) 松塩筑木曽老人福祉組合感染症対策
- 3) 感染症情報の収集、会員への通知
- 4) 感染症情報を医師会ホームページに掲載

3. 松本市小児科・内科夜間急病センターの管理運営

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策
- 2) 「夜間急病センターニュース」発行
- 3) 小児科医による出前講座（中止）
- 4) 子どもの急病・子育て支援講座（中止）
- 5) 夜間急病センタースタッフ一次救命処置講習（令和6年11月16日）

4. 委員会・会議

- 1) 感染症対策委員会（毎月第4水曜日計11回）
- 2) 夜間急病センター拡大実務者会議（令和6年6月22日）、運営協議会（令和6年7月22日）、実務者会議（令和6年10月23日）
- 3) 松本市予防接種懇談会（令和6年9月2日、令和7年2月5日）
- 4) 予防接種健康被害調査委員会（令和6年4月15日、10月1日、12月16日、令和7年3月27日）
- 5) 松本市感染症対策委員会（令和6年12月23日）
- 6) 松本広域圏救急・災害医療協議会 新型インフルエンザ・新興感染症対策委員会（令和6年6月24日）
- 7) 松本市エイズ・HIV 等性感染症予防啓発推進協議会（令和6年7月22日、令和7年3月12日）
- 8) 松塩筑木曽老人福祉組合感染症防止対策委員会（令和6年11月13日）

5. 総 括

担当理事 水 野 史

令和 6 年度は、新型コロナウイルス感染症は、大流行とまではいかないが年間をとおして罹患者を認めていた。病院や高齢者施設ではところによっては集団感染を生じ、不幸な転期をとる患者さんもいた。

夜間急病センターは、各診察室にクリーンパーティションを配置して、発熱患者の診察、新型コロナウイルス抗原検査を通常の診察室内で行えるようにした。令和 6 から 7 年秋冬シーズンには、コロナとインフルエンザの同時流行を迎えた。特にインフルエンザは過去 10 年で最大の流行になった。令和 6 年 12 月以降の休日、年末年始は、日中の休日当番医同様夜間急病センターも混雑し、連日終了時刻を大幅に超える患者数になった。

以前から出務する診療所医師の高齢化、閉院がある一方で新規開業がなく、出務医の不足が深刻な状況であった。加えて、令和 6 年度から開始した働き方改革の影響で、病院勤務の小児科医は時間外勤務が制限され、勤務間インターバルも問題になってきた。結果として、夜間急病センターの医師出務表の作成が困難になった。

この問題点を解決するため、各方面と調整した結果、令和 7 年度 4 月から診療終了時刻を 23 時から 22 時へ変更した。これにより、出務医の翌日の勤務への影響は少なくなったが、根本的な解決には至っていない。

予防接種事業では、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開され、救済接種期間の最後の年であった。夏頃からワクチン接種者が増加したため、ワクチン配分に偏りがでて、ワクチンが入手困難になる医療機関が生じた。そのため特例として、救済期間 3 年間のうちに 1 回でも接種した人は、令和 7 年度内に終了ができるように接種期間が延期された。

学校保健衛生部

1. 活動・運営・シンポジウム

- 1) 子どものころとからだの問題を考える～学校関係者と学校医のつどい～（第22回）
令和6年11月2日（土）於：Mウイング 6階ホール
テーマ「子どもロコモ・運動器検診について考える」
出席者：69名（うち医師等：15名、養護教諭：44名、その他：10名）
基調講演「子どもロコモ・運動器検診について考える」
医療法人 二階堂医院 院長 二階堂 元重 先生

2. 保育園・幼稚園・児童・生徒の健康管理に関する事項

- 1) 乳幼児健診（4か月・10か月・1歳6か月・3歳児健診） 240回
- 2) 保育園・幼稚園保健懇談会：令和6年7月11日（木）対面
・保育園・幼稚園から各科への質疑応答
・講演 「正しく知ろう！全保育者に必要な食物アレルギーの基礎知識」
やまだ小児科クリニック 院長 山田 節 先生

3. その他

- 1) 委員会等開催状況
・学校保健衛生委員会 11回（休会：12月）
・教育フォーラム準備会 2回
・学校保健懇談会 1回
・学校心臓検診検討会 4回
・学校検尿検討会 3回
・保育園・幼稚園保健懇談会準備会 1回

4. 総括

担当理事 小林 克彦

令和6年度は、ポストコロナとなり、心臓検診、結核検診、学校検尿事業を含めた学校検診、また乳幼児健診は以前のように滞りなく行われ、保健懇談会についても無事に開催された。

学校・園の関係者、検査センター職員、学校医の先生方、委員の先生方には、感謝の念に堪えません。

さて、当委員会の2大行事の一つ、「第22回子どものころとからだの問題を考える～学校関係者と学校医のつどい～」は、「子どもロコモ・運動器検診について考える」をテーマに、基調講演は千曲市 二階堂医院院長 二階堂元重先生による「子どもロコモ・運動器検診について考える」であった。二階堂先生は、「こどもロコモ」ってなに？という基礎から始まり、子ども達の現状、生活習慣の影響、そして運動習慣の重要性について、さらには運動器検診の重要性と問題点について、非常にわかりやすくお話しいただいた。その後、松本市立島立小学校の熊谷明子先生から教育現場における取り組み、佐久市雨宮病院理学療法士の志摩亮治先生からロコモ予防についての取り組みについてご講演いただいた。いずれの先生も子ども達の現状に危機感を抱いており、日常における運動の重要性を強く訴えておられた。

2大行事のもう一つ「第9回学校医大会」は、「成長曲線のブラッシュアップ」をテーマに、今村こどもクリニック院長 今村柚紀子先生にご講演いただいた。なお学校における成長曲線による

評価は平成 28 年度から開始され 7 年以上経過した。それに伴い発行された松本市版「成長曲線異常児への対応について」というマニュアルも今年度改訂を行った。基礎から変更点まで今村先生は、非常にわかりやすくご講演いただいた。

今年度も、少子高齢化により、園児・生徒数が徐々に減少しているものの、それにも増して園医・学校医の高齢化などがあり、ご退任される先生のペースが早くなっていた。後任の先生探しは難渋しており、これは学校産業医の選任も同様であった。さらには乳幼児健診についてもほぼ限界である。今後は、病院勤務の先生方、場合によっては医師会員以外にも協力を仰ぐことも視野に入れ検討しているところである。

また学校健診については、様々な意見も持つ医師がマスメディアに取り上げられ、検診する医師に厳しい目が向けられることも多くなってきた。しかしながら、令和 6 年 1 月に文科省から通知された「児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について」の実施が遅々として進まないため、松本市小中学校校長会へ通知を遵守するよう申立を行った。

コロナの大きな波が去っても、子ども達を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しているように思います。会員の先生方には、ますますのご指導をいただき、学校衛生や乳幼児の健康事業等に取り組んでまいります。何卒よろしくお願いいたします。

老人保健福祉部

1. 松本市城山介護老人保健施設

1) 事業報告

(1) 職員構成（令和7年4月1日現在）

医師	1.3人（常勤換算）
看護職員	15人（内パート1名）
介護職員	40人（内パート8名）
理学療法士	5人（内パート2名）
作業療法士	4人（内パート1名）
言語聴覚士	1人（内パート1名）
薬剤師	1.1人（常勤換算）
管理栄養士	1.5人
栄養士	1人
支援相談員	4人
事務職員	3人
送迎車運転職員	4人（パート）

(2) 利用状況

介護老人保健施設定員	入所 119 床	通所リハビリテーション	25 人
・令和6年度日平均入所者数（稼働率）	107.9 人（90.7%）		
	（一般入所 105.8 人、短期入所 2.1 人）		
・日平均通所リハ人数（利用率）	17.0 人（67.9%）		

2) 管理運営等

(1) 城山月例運営会議	12 回	(9) 看介護・フロア会議	5 回
(2) 入所判定会議	39 回	(10) 職員学習会・研修会	8 回
(3) 身体拘束廃止委員会	4 回	(11) 避難・防災訓練	1 回
(4) 安全対策委員会	4 回	(12) 終末期ケア委員会	8 回
(5) 感染対策委員会	4 回	(13) サービス向上・研修委員会	3 回
(6) 褥瘡対策委員会	4 回	(14) 口腔衛生・食事サービス委員会	7 回
(7) 栄養管理委員会	12 回	(15) ICT 検討委員会	4 回
(8) 排泄・入浴委員会	4 回	(16) レクリエーション委員会	3 回

3) 自主事業 注）コロナ対策のため、自主事業（行事）は、城山祭り以外は、フロアごとに実施。

(1) 城山祭(施設全体)	7 月 21 日	(5) 新年会	1 月 15 日
(2) 敬老会	9 月 16 日	(6) 節分会	2 月 04 日
(3) 運動会	10 月 30 日	(7) ひな祭り	3 月 04 日
(4) クリスマス会	12 月 11～25 日	(8) りんご湯	12 月 02 日～07 日
・誕生会：毎月 1 回	・遠足（春・秋）：6 回		
・お花見・お茶会：6 回	・行事食：50 回		
・おやつレクリエーション：5 回			
・近藤先生音楽療法：毎週水曜日			
・歌声広場：36 回			
・地域ボランティアによるイベント（人形劇・歌唱・踊りなど）：中止			

4) まとめ

令和6年度も年度当初に施設運営目標を定め、目標達成に向け努力した。

＜施設運営目標＞

- 1 入所稼働率・通所利用率を100%に近づける。
- 2 可能な加算は全て算定する。
- 3 光熱水費など経費を削減する。

施設利用状況は、入所利用は1日平均107.9人（稼働率90.7%）。前年度と比較し、平均利用者数で4.7人（稼働率3.9%）減であった。通所利用では1日平均17.0人（利用率67.9%）。前年度と比較し、平均利用者数1.0人（利用率4.0%）増であった。

入所利用について、稼働率95%を目標にベッドの空床を作らないよう努めてきたが、結果として90.7%と達成には至らなかった。また、施設で看取りをさせていただいた方は10名であった。令和6年度は、体調により病院へ搬送するケースが多かったことから、空床ベッドを多く作ってしまったことが反省点となってくる。通所利用については、1日平均20人のご利用を目指してきたが、17人平均で終わった。新規利用者増が出来ても、在宅生活の維持が困難となり終了していくケースもあり、数字として結果を出すことが出来なかった。平成22年からスタートした介護職員処遇改善加算については、ご利用者にご負担いただいた加算分を職員給与のベースアップ分等に回すよう計画してきている。令和6年5月31日まで3本立てで計6.8%であった利用者負担が、介護報酬の改正により令和6年6月より「介護職員等処遇改善金加算7.5%」に一本化され、加算で得た収益はもれなく職員の給与費の一部として使われている。介護現場における人手不足が深刻化している昨今、若い職員の離職が当施設においても起きている事、また、求人に対する反応がないことなど人材確保が厳しい状況が続いている。

令和6年度の経営状況を概略で見ると、収入が6億2,600万円、支出が6億2,900万円で、約300万円支出が収入を上回ってしまった。年度当初、約3,000万円の収益を見込み、退職金積立へ回せるようにと計画したが、目標を達成することはできなかった。今年度の対策としてまずは、ベッドの空床を最小限に食い止めるようベッド管理を強化していく。支出面では、16社強の会社に業務委託している委託費の上昇が経費増大につながってきている。正社員に代わり派遣社員の採用について委託業務の一つとして開始したことや、物価高騰による食材料費等の上昇などを理由として、給食業務委託会社からの委託金額の改定要望を受けて、令和6年4月から食費がおやつ代込みで1,640円から1,760円へ120円値上げされたものの、思わぬ米価格の急騰、物価高騰の継続により、市と協議の結果、今年度も利用料（食費）の増額に係る要望書を松本市へ提出することとなった。周辺施設の状況調査等も実施し、2月定例議会に議案が提出され、3月に可決された。令和7年4月から1,760円から1,860円へ100円値上げ、通所リハビリ食費は、おやつ込み720円から760円への値上げとなった。

現在、予約なしでご家族が施設内へ入館し、ご本人と対面面会を行うことを、注意事項をご理解いただきながらではあるが再開することが出来ている。色々な施設行事についても前向きに取り組んでいく方向性を打ち出しており、コロナ以前の施設運営に近づきつつある。ご利用者及びご家族からの意見に耳を傾けながらより良いサービスの提供に努めたい。119床満床を目指し、入所稼働率のアップ、通所リハビリの利用率向上について検討を重ね、利用料収入が増加するよう努力し、退職積立金・収益に結び付けたい。また、地域において、多職種が揃う介護の拠点として医療との連携を図りながら皆様に貢献できる施設であるための努力を惜しまない。

2. その他

1) 委員会等開催状況

老人保健委員会

11回

3. 総 括

担当理事 羽 田 原 之

松本市城山介護老人保健施設は 2017 年 4 月に松本市より特命指定（特命による利用料金方式）を受け医師会が管理運営を行なっている。2022 年 11 月に発生した施設内クラスターをはじめとし、令和 6 年度も Covid-19 に影響される年となった。入所者の高齢化に伴い肺炎などで入院となるケースも多く、また施設内看取り件数の減少なども影響し、施設入所稼働率は 90.7%と目標とする 95%には及ばない数字となった。通所利用についても Covid-19 による通所控えや他施設との競合により、17 人/日と目標の 8 割程度に留まっており利用者の確保が課題となる。

今後も物価高騰や他サービス提供施設の増加もあり施設の経営環境は厳しい状況が予想されるが、利益額が医師会に還元されるのは職員退職金積立の終了後であるため、引き続き利用者に満足され高い利用率を維持できるよう、サービスの向上と経営の努力を継続していくところである。

コロナ禍で開催が縮小化されていた在宅医療勉強会も令和 5 年度以降通常開催され、医療、介護、行政各関係者が集う場となっている。更に令和 6 年度は医療・介護の連携強化を目指し、松本市医師会地域包括ケア研究会が発足し活動を開始している。地域包括ケアシステムの発展を目指し、医療・介護・福祉分野が協力できる体制作りを積極的に進める予定である。

産業衛生部

1. 活動・運営

- 1) 県医師会主催による産業医学大会、日本医師会認定産業医講習会の受講に関する案内と産業医認定、更新申請の手続きを行った。
- 2) 産業医推薦
産業医選任を希望されている事業所に対し、産業医を選任した。
- 3) 産業医学関係の刊行物の配布、衛生教育用資料などによる情報提供をした。
- 4) 松本地域産業保健センターの活動
従業員 50 人未満の小規模事業所で働く方に対して健康相談窓口の設置、個別訪問、産業保健指導等を行った。
- 5) 松本産業保健連絡協議会の開催
協議会は年 2 回程度開催され、そのうち 1 回は産業保健センター運営協議会と合同で行っている。今年度は対面にて開催し、「働く人々の健康を守るシンポジウム」については、来年度以降は形を変えての開催を考えている。

2. その他

- | | |
|-------------------|-----|
| 1) 委員会等開催回数 | |
| 産業衛生委員会 | 1 回 |
| 松本産業保健連絡協議会および | |
| 松本地域産業保健センター運営協議会 | 1 回 |

3. 総 括

担当理事 沖 野 知 範

産業医選任については、依然として厳しい状況には変わりはありませんが会員通知による公募や産業医の意向調査からの選任依頼などにより、滞りなく産業医の選任が出来たことについて感謝を申し上げます。事業所からの産業医推薦依頼に関して、長く続けてもらえる産業医（年齢的に）などと条件を付けられてくるようになってきており、今後の選任依頼への対応はさらに難しくなっていくものと思われます。松本地域産業保健センター業務も参加いただける産業医の確保が困難となっており、また臨時に発生する業務への対応も必要となっており課題となっております。

「働く人々の健康を守るシンポジウム」においては、これまで事業所関係者と産業医が共に参加する形式になっておりましたが、事業所関係者の平日開催の希望と産業医の休日開催の希望との折り合いがつかず、今期も開催に至りませんでした。産業衛生委員会で検討したところ今後は主に産業医が参加する形式に変更することとなりましたが、松本産業保健連絡協議会・松本地域産業保健センター運営協議会では、事業所関係者と産業医が共に参加できる形式を希望する意見も出たため結論には至らず、再度協議をすることとなりました。そのため今後の開催形式については来期に持ち越しとなりました。

検査検診部

1. 検査件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

一般検査	49,889	半日ドック	601
血液検査	69,745	協会けんぽ	6,088
細菌検査	0	松本市特定健診	4,721
PCR検査	5,912	商工ヘルス	1,339
血清検査	96,808	事業所健診	11,374
化学検査	836,515	歯科医師会健診	2,007
外注検査	12,373	学校検診	32,934
病理検査	6,768	骨密度	2,901
細胞検査	19,474	その他	24,860
生理検査	191	小計	86,825
小計	1,097,675		
結核肺がん検診（車）	4,694		
胸部直接（車）	5,461		
胸部直接	21,001		
胃部直接	6,513		
C T	2,763		
マンモグラフィ	1,582		
小計	42,014	総計	1,226,514

2. 主要記録

令和6年

4月 1日	始業式、辞令交付式 新規採用者3名（臨床検査技師：岩城葵・倉菜々美、看護師：正規職員に移行 武内めぐみ）勤務開始、検査課課長に岩岡秀子技師就任 第4期特定健診開始、翼状針採血に変更
4月 2日	松本大学学生健康診断（～4/6）
4月 8日	人間ドック、協会けんぽ一般健診、生活習慣病予防・定期健康診断開始 松本看護専門学校学生健康診断（～4/9） 職員健診開始
4月 11日	松本市立小中学校一次尿検査開始（～5/24） 松本市小中学校心臓一次検診開始（～6/14）
4月 12日	受診者検査着 新デザイン使用開始 商工ヘルススクリーニング開始 南分室健診開始
4月 15日	消化器集団検診検討会 読影開始 レントゲン車 タイヤ交換
4月 16日	放射線量測定（本館・南分室・レントゲン車）
4月 19日	レントゲン車 管球交換
4月 24日	松本市小中学校検尿2次検査開始（～6/5）
4月 25日	レントゲン車 バッテリー交換
5月 7日	クールビズ開始（～10/5）

5月	8日	肺がん読影検討会 読影開始
5月	13日	市職ヘルススクリーニング開始 松本市肺がん結核検診開始（レントゲン車）（～11/22）
6月	3日	広域ヘルス（6月）開始
6月	4日	松本市小中学校検尿三次検査（6/20、6/28 3回） 2024年度日臨技臨床検査精度管理調査実施
6月	10日	本館 DR 管球交換（新品）
6月	11日	レントゲン車 オイル交換
6月	12日	松本市小中学校心臓二次精密検診（6/26、7/17、7/24 4回）
6月	14日	病理検査室 水質検査実施
6月	18日	経営改善モニタリング①（健診）
6月	20日	経営改善モニタリング①（検査）
7月	1日	松本市国保特定健診、後期高齢者健診、各種がん検診開始 松本市単独肝炎検診、単独大腸がん検診、単独 ABC 検診開始（個別…9/30 ま で・集団…2/28 まで）
7月	8日	病理検査室 作業環境測定実施（環境技術センター）
7月	18日	松本市乳がん検診（超音波）開始（～3/17、本館実施 17 回・南分室 23 回）
8月	1日	肺がん検診検討会
8月	6日	消化器検診検討会
8月	20日	八十二銀行健診開始（～10/24）
8月	21日	歯科医師国保組合健診開始（～11/26）
8月	26日	キッセイ健保健診開始（～10/6）
9月	4日	松本市小中学校児童生徒徒血液検査、松本市立中学 2 年生ピロリ菌血液検査開始
9月	11日	令和 6 年度(第 58 回)日本医師会精度管理調査実施
9月	19日	レントゲン車装置故障により市民巡回撮影中止（長野県健康づくり事業団、 アサヒメディカルよりレントゲン車レンタルして実施。～9/24）
10月	1日	松本市国保特定健診（地区巡回）開始（～12/21）
10月	5日	笹井幸加技師 日本医療検査科学会 2024 年度第 31 回論文賞受賞 「アルカリ性ホスファターゼ測定における酸性ホスファターゼの影響につ いて-4-NPP を第一試薬に添加した試薬における第一試薬添加後の吸光度上 昇の原因究明-」（医療と検査と自動化 48(1):24-28, 2023）
10月	8日	放射線量測定（本館・南分室・レントゲン車） 2024 年度(第 39 回)長野県精度管理調査実施 経営改善モニタリング②（検査） 経営改善モニタリング②（健診）
10月	17日	朝日村国保特定健診・いきいき健診開始（～11/8）
10月	18日	病理検査室染色排水検査実施（環境技術センター）
11月	6日	レントゲン車 タイヤ交換
11月	8日	職員インフルエンザワクチン接種
11月	14日	会員・会員配偶者血液検査実施（～11/16）
11月	16日	松本市中学 2 年生ピロリ菌検査（私立、国立他）実施（11/30、2 回）
12月	2日	広域ヘルス（12月）開始
令和 7 年		
1月	20日	病理検査室作業環境測定実施（環境技術センター）
1月	22日	交通安全祈願祭
1月	28日	経営改善モニタリング③（検査） 経営改善モニタリング③（健診）
2月	27日	松本市保健所による衛生検査所立入調査

3月 25日 個人情報保護内部監査実施
 3月 27日 経営改善モニタリング④（検査）
 経営改善モニタリング④（健診）

3. 学会・研修会、講習会

1) 学会

日付	主催	内容・会場 参加者
5月11日～12日	日本臨床衛生検査技師会	第73回 日本医学検査学会（金沢） 参加者：岩岡
6月7日～9日	日本臨床細胞学会	第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会） （大阪国際会議場） 参加者：中嶋純美
8月5日～9月15日	日本超音波検査学会	第49回日本超音波検査学会学術集会（Web配信） 参加者：小林加奈、中村かよ、大塚
9月6日～7日	日本人間ドック学会	第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会（パシフィコ横浜） 参加者：西牧
10月4日～6日	日本臨床衛生検査技師会	日本医療検査科学会 第56回大会（パシフィコ横浜） 参加者：岩岡
10月26日～27日	日本臨床衛生検査技師会	第60回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（軽井沢プリンスホテルウエスト） 参加者：奈須、内山、伊藤、岩城、小林加奈
11月1日～8日	日本婦人科がん検診学会	第33回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会（Web配信） 参加者：手塚

2) 研修会、講習会

日付	主催	内容・会場 参加者
4月1日～4月21日	日本臨床衛生検査技師会	診療報酬改定に伴う説明会（Web配信） 参加者：奈須、草間、岩岡
4月1日～5月30日	株式会社 じほう	2024年度診療報酬改定 検査室が知っておくべきポイント（Web配信） 参加者：奈須、草間、平林、岩岡、百瀬有希、手塚、三沢梓、百瀬茂治
4月15日	神奈川県消化器がん検診一次検診連絡協議会	第9回合同評価会（Web配信） 参加者：丸山

4月20日	長野県医師会	医療機関におけるサイバーセキュリティ研修会 (梅風閣) 参加者：平林、筒井、小川
5月1日～5月31日	長野県臨床検査技師会	2023年長野県精度管理調査改善検討 (Web 配信) 参加者：百瀬有希、岩岡、小林加奈、大塚、手塚
5月8日	(一社) 安全衛生マネジメント協会	化学物質管理者講習取扱事業場向け (JA 長野県ビル) 参加者：中村かおり
5月11日	日本乳がん検診精度管理中央機構	第23回乳房超音波技術講習会 (名古屋国際会議場) 参加者：小林加奈
5月20日～6月2日	積水メディカル株式会社	採血管取り扱いの基礎知識 (Web 配信) 参加者：岩岡、小林加奈、手塚
5月24日～5月31日	アークレイ	・HbA1c 測定の落とし穴 ・改めて考える尿定性検査 (Web 配信) 参加者：岩岡
5月26日	長野県臨床検査技師会	2023年度管理者研修会 メンタルヘルスについて (安曇野赤十字病院) 参加者：内山、奈須
6月1日～7月31日	日本人間ドック学会	健診事務職セミナー 発展編 (Web 配信) 参加者：岩岡、奈須、小林加奈、百瀬茂治
6月3日～6月17日	栄研化学	みなとみらいフォーラム 2024 (Web 配信) 参加者：手塚、上條朋美
6月6日	長野県健康福祉部	令和6年度感染症発生動向調査事業等においてゆうパックにより検体を送付するための包装責任者研修会 (松本合同庁舎2階) 参加者：草間
6月9日	長野県臨床検査技師会	2024年度定時総会 (信州大学旭総合研究棟) 参加者：内山、奈須
6月15日～8月30日	キャノン	マンモグラフィオンラインセミナー (Web 配信) 参加者：太田、牧野
6月30日	長野県臨床検査技師会	第69回病理組織研修会 (信州大学医学部附属病院外来棟4階大会議室) 参加者：長田、中村かおり、上條朋美
6月30日	日本臨床検査同学院	第6回血液学技術講習会 (東日本) (新渡戸文化短期大学中野臨検キャンパス) 参加者：百瀬有希
7月1日～7月31日	日本臨床衛生検査技師会	令和6年度 日臨技認定センター 認定病理検査技師指定講習会 (Web 配信) 参加者：中嶋純美

7月1日～8月31日	日本臨床衛生検査技師会	病棟業務とタスク・シフト/シェア推進① (Web 配信) 参加者：百瀬有希
7月7日	長野県臨床検査技師会	2024年度新入会員研修会 (信州大学医学部附属病院外来棟4階中会議室) 参加者：伊藤、岩城、内山
7月12日	ロシュ・ダイアグノスティック	ロシュ健診セミナー2024 (Web 配信) 参加者：奈須
7月13日	長野県臨床検査技師会、長野県看護協会、長野県病院薬剤師会、長野県臨床工学技士会、長野県診療放射線技師会、長野県理学療法士会	多職種合同研修「臨床現場におけるエラーや事故とその対応」 (公益社団法人長野県看護協会大ホール) 参加者：奈須
7月19日～20日	全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会	令和6年度 全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会年次大会 参加者：奈須、平林、百瀬、草間
7月27日	長野県マンモグラフィ研究会	第11回 長野県マンモグラフィ研究会 (長野県健康づくり事業団) 参加者：牧野
8月3日	長野超音波セミナー実行委員会	第17回 長野超音波セミナー (佐久医療センター) 参加者：中村かよ、西牧、牧野、大塚、奈須、小林加奈
8月10日	長野県臨床検査技師会 北信支部	採血業務における基礎的な注意点 医療は接遇から (篠ノ井総合病院) 参加者：奈須、小林加奈
9月29日	長野県臨床検査技師会	災害研修会 (安曇野赤十字病院) 参加者：奈須、小林加奈
9月29日	日本乳腺甲状腺超音波医学会	第1回乳房超音波スタートアップ講習会 (Web 配信) 参加者：中村かよ
10月3日	富士フイルムメディカル	乳がん検診における乳房超音波検査-日々の業務の効率化のために- (Web 配信) 参加者：奈須、小林加奈
10月7日～10月14日	H.U. フロンティア	LUMIPULSE FORUM 2024 -検査室からみた検査、臨床医からみた検査- (Web 配信) 参加者：岩岡
10月12日	長野県医師会	令和6年度 長野県医師会肺がん検診研修会 (Web 配信) 参加者：丸山

10月15日～ 12月31日	H.U. フロンティア	脂肪肝診療におけるIV型コラーゲン・7Sの有 用性 (Web 配信) 参加者：小林加奈、岩岡
11月8日	じほう	2024 年度診療報酬改定：検査部門からの検 証と対応 (Web 配信) 参加者：奈須
11月16日	長野県医師会	令和6年度 長野県医師会消化器検診研 修会 (Web 配信) 参加者：平林 丸山
11月18日～ 12月1日	積水メディカル株式 会社	精度管理に関するお問い合わせ事例紹 介 (Web 配信) 参加者：岩岡
11月20日～ 12月25日	シスメックス株式 会社	シスメックス Lab マネジメントセ ミナー⑧ 臨床検査情報システムのサイバーセ キュリティ対策 (Web 配信) 参加者：岩岡
11月23日	日本臨床衛生検査技 師会	2024 年度 臨床検査精度管理調査 総合報告会 (幕張メッセ 国際会議場 2F コン ベンションホール) 参加者：松島
12月6日	(一社) 長野県安全運 転管理者協会	令和6年度 安全運転管理者等法定 講習 (キッセイ文化ホール) 参加者：竹内
12月8日	長野県臨床検査技 師会	第2回長野県生理研究班研修会 ～頸動脈エコーの基本と計測を学 ぼう～ (松本市勤労者福祉セン ター) 参加者：小林加奈、中村かよ
12月12日	シスメックス株式 会社	シスメックスイムノウェビナー Vol.2 「あなたの測定する NTproBNP が 心不全パンデミックを防ぐ」 (Web 配信) 参加者：奈須、小林加奈
12月14日	富士フイルムメディ カル	第19回中部乳腺エラストグラフィ ユーザー会 -高エコー所見を考えてみよう！- (Web 配信) 参加者：中村かよ、奈須、小林加 奈
12月16日～3 月31日	(株) ユーエスワ ールド	初心者の為の心電図講習会 心電図の判読手順とポイント (Web 配信) 参加者：小林加奈、大塚、岩城、 稲田、中村かよ
12月17日	カイノス WEB セ ミナー	輸血精度管理 (Web 配信) 参加者：小林由美
12月18日～1 月15日	シスメックス株式 会社	シスメックス Lab マネジメントセ ミナー⑨ 面倒な試薬在庫管理・・・システ ム活用しませんか？ (Web 配信) 参加者：岩岡、山本

12月22日	長野県臨床検査技師会	2024年度リーダー育成研修会（信州大学医学部附属病院外来棟4階中会議室） 参加者：奈須、小林加奈、内山
1月1日～4月1日	富士フイルム和光純薬	症例ベースで考えるS2.3PSA%検査の使いどころ（Web配信） 参加者：大和、山本、奈須
1月6日～2月28日	特定非営活動法人超音波スクリーニングネットワーク	超音波スクリーニング研修講演会2024東京（Web配信） 参加者：奈須、小林加奈、大塚
1月15日	日臨技	2024年度支部検査医学学会（仙台）横地常広会長基調講演「『医療DX』その先に・・・」（Web配信） 参加者：奈須、平林、百瀬、小林加奈
1月15日～3月15日	CIC日本建設情報センター	保護具着用管理責任者教育 映像通信講座（Web配信） 参加者：中嶋純美
1月18日	長野県臨床検査技師会 長野県診療放射線技師会	2025年一社長野県臨床検査技師会・一社長野県放射線技師会合同研修会・合同賀詞交歓会（アルピコプラザホテル） 参加者：奈須
1月21日	日本臨床衛生検査技師会	精度管理責任者育成講習会（eラーニング） 参加者：岩岡
1月24日	日本経済新聞社	日経オンラインセミナー「データ×AI活用で実現する組織変革～デジタルテクノロジーの活用で営業部門はどう変わるべきか～」（Web配信） 参加者：奈須
1月27日	松本労働基準監督署	令和6年度自律的な化学物質管理説明会（松本市勤労者福祉センター） 参加者：平林、草間
2月1日	長野県臨床検査技師会	新たな化学物質規制について（佐久医療センター） 参加者：奈須、小林加奈、丸山、百瀬
2月2日	長野県臨床検査技師会	2024年度長野県冬季一般検査研修会（信州大学医学部保健学科棟） 参加者：大和
2月5日	積水メディカル株式会社	検査基礎セミナー CBCと血液凝固検査ピットフォール（Web配信） 参加者：倉
2月7日～2月17日	富士フイルムメディカル	ITを活用した生理検査室の統合管理と質の高いエコーレポートの作り方（Web配信） 参加者：奈須、小林加奈
2月14日	日本電子株式会社	2024年度BMマイスター筆記試験事前講習会（Web配信） 参加者：岩岡・松島

2月15日	長野県臨床検査技師会	第二回中信支部研修会（信州大学旭総合研究棟9階） 参加者：望月、草間、小林加奈、伊藤、岩城、内山、奈須
2月16日	長野県臨床検査技師会	2024年度乳腺エコー実践研修会（豊科公民館） 参加者：奈須、小林加奈
2月17日～3月2日	積水メディカル株式会社	CSC基礎セミナー 脂質（Web配信） 参加者：岩岡
2月23日	長野県臨床検査技師会	第69回病理組織研修会（信州大学医学部附属病院外来棟4階大会議室） 参加者：中村かおり
3月1日～3月31日	日臨技	令和6年度日臨技事業説明オンデマンド研修（Web配信） 参加者：奈須
3月2日	長野県日本臨床細胞学会	第38回長野県日本臨床細胞学会学術集会（信州大学医学部旭総合研究棟9階） 参加者：横山、中嶋純美
3月5日～3月26日	シスメックス株式会社	シスメックス Lab マネジメントセミナー⑫ 医療DXでどうなる？臨床検査データ活用の将来展望（Web配信） 参加者：岩岡
3月6日	シスメックス株式会社	シスメックスヘマトロジーセミナー基礎から学ぶ血液形態（Web配信） 参加者：倉
3月14日	日本医師会	令和6年度臨床検査精度管理調査報告会（日本医師会） 参加者：岩岡
3月17日～4月17日	富士フイルムメディカル	第3回首都圏乳腺エラストグラフィユーザー会：角田博子先生講演（Web配信） 参加者：太田
3月25日	H.U. フロンティア	医療接遇研修 CASE1:しなやかな電話対応 CASE2:クレーム対応 CASE3:採血がうまくいかない時の対応 CASE4:車いすから・車いすへ 参加者：岩岡、平林、奈須

3) 医師会検査健診センター内での勉強会

日付	主催	内容・会場 参加者
6 月 24 日	松本市医師会 事務課	令和 6 年度特定健診等について（松本市医師会） 参加者：草間、竹内、三沢梓、宮下、原田、上條 富美子、小笠原、上條秋男、矢野、花岡、藤澤、 大和智、大和由香

4) 松本市医師会生涯教育講座

日付	内容・会場 参加者
3 月 27 日	第 945 回 松本市医師会生涯教育講座 「当院における胃検診の実態」（松本市医師会講堂・Web 配信） 参加者：平林、太田、丸山、牧野、三澤、岩岡、百瀬、奈須

4. 「検査健診センターニュース」の発行

令和 6 年

4 月	3 日	No. 40	麻しん抗体検査について
		No. 41	CT 検査のご案内
4 月	24 日	No. 42	推定 1 日食塩摂取量のご案内
6 月	12 日	No. 43	検査健診センター 集配体制、土曜日の物品、検体ボックス
		No. 44	赤血球沈降速度検査のご案内
7 月	3 日	No. 45	凝固検査 PT・APTT のご案内
		No. 46	前立腺特異抗原（PSA）レクチン結合分画比（S2, 3PSA%）受託開始
8 月	21 日	No. 47	LOX-index®のご案内
9 月	25 日	No. 48	病理検査 病理組織検査について（2）
10 月	23 日	No. 49	末梢血液像のご案内
11 月	6 日	No. 50	健診結果から CKD を見逃さないために
12 月	4 日	No. 51	マイコプラズマニューモニエ（PA）一時受託中止、 年末年始休みのお知らせ

令和 7 年

1 月	8 日	No. 52	パルボウイルス B19 について
1 月	29 日	No. 53	TARC 検査について
2 月	12 日	No. 54	MCI スクリーニング検査プラスのご案内
3 月	19 日	No. 55	令和 7 年度 登録医療機関 松本市窓口検診取扱料金一覧

5. 「臨床検査医ノート」の発行

令和 6 年 4 月 No.253 検査データの読み方

			臨床検査の総論的な読み方（その 29）
	5 月	No.254	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 30）
	6 月	No.255	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 31）
	7 月	No.256	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 32）
	8 月	No.257	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 33）
	9 月	No.258	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 34）
	10 月	No.259	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 35）
	11 月	No.260	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 36）
	12 月	No.261	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 37）
令和 6 年	1 月	No.262	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 38）
	2 月	No.263	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 39）
	3 月	No.264	検査データの読み方
			臨床検査の総論的な読み方（その 40）

6. 冊子の発行

令和 4 年度 松本市大腸がん検診報告書
 令和 4 年度 松本市前立腺がん検診報告書
 令和 2・3 年度 松本市肺がん・結核・CT 検診報告書
 令和 4 年度 松本市乳がん検診報告書
 令和 2～4 年度 松本市中学生ピロリ菌検査報告書

7. 委員会・各検討会開催

検査検診委員会 11 回（毎月第 2 水曜日、8 月なし）
 子宮がん検診検討会（4 月）
 中学生ピロリ菌検査実務者会議（4 月）
 各種がん検診検討会連絡会（11 月）
 特定健診等検討会議（1 月）
 肺がん検診検討会（2 月）
 乳がん検診検討会（3 月）
 消化器検診検討会（未実施）

8. 総 括

担当理事 溝 上 哲 朗

1. 検体検査については、廃院などによる利用医療機関の減少や、特定健診受診率の低下の影響により、医療機関からの検体件数は減少した。一方で、健診からの検体数が増加したことにより、一般検査・血液検査・血清検査・化学検査においては、件数が増加した。また、令和5年1月から細菌検査、PCR検査、巡回健診の一部検査を外部委託としたことにより、PCR検査は減少し、外注検査は増加した。さらに、病理検査および細胞検査も増加している。
健診についてはおおむね増加傾向にあり、特に後期高齢者健診、事業所健診の増加が顕著である。学校検診については、児童・生徒数の減少により、わずかながら減少傾向が続いている。
2. 技師を対象とした学会や研修会についてはWebやオンデマンド形式のものも含めて、積極的に参加できている。また、「臨床検査医ノート」を通じて総論的な検査データの読み方に関する情報発信を行っており、会員の先生方が検査データを考察する際の一助となっているものと思われる。
3. 松本市がん検診のまとめとして、「令和4年度松本市大腸がん検診報告書」「令和4年度松本市前立腺がん検診報告書」「令和4年度松本市乳がん検診報告書」「令和2・3年度松本市肺がん・結核・CT検診報告書」「令和2～4年度松本市中学生ピロリ菌検査報告書」の作成を行った。また、毎年実施している各種がん検診検討会や特定健診検討会議についても、予定通り開催することができ、松本市との貴重な意見交換の場となっている。
4. 毎月開催される検査検診委員会において、検査健診センターの当月実績および累積実績の報告が可能となった。また検査件数や利用状況、支出（人件費や試薬等）についても四半期ごとに報告を行い、経営状況の迅速かつ正確な把握に努めている。
会計事務所指導による経営改善モニタリングの開始から2年が経過し、現場職員にも改善すべき事項に対する意識や考え方が定着してきたと感じている。各課の取り組みについて委員会で定期報告を受けているが、それぞれの課で改善をみとめている。
5. MInCS for Lab（医師会検査センターと会員医療機関との検査依頼および検査結果配信業務をオンラインで行うクラウドサービス）については、新規開業の医療機関に導入していただくことができた。今後も引き続き会員への周知を図り、検査センターのさらなる利用促進につなげていきたい。
6. 物価高騰や人材難、利用医療機関の減少、特定健診の受診率低下に伴う収入の減少等、依然として厳しい経営環境が続いているが、医師会収益事業の柱として健全経営を継続していくことが責務と考える。会員にとっては医師会立の検査センターとしてより身近で小回りのきくサービスを提供できるよう、また市民にとっては新しい施設で、より快適な健診を提供できるよう引き続き努力していきたい。

看護学校部

1. 業務報告

1) 職員構成

本務職員

副学校長	1 名
教務主任	1 名
専任教員	8 名
事務職員	3 名

兼務職員

学内講師	12 名（学校長、副学校長、担当理事、校医含）
学外講師	113 名

2) 学生数

	4 月当初	年度末
1 学年	39 名	36 名
2 学年	28 名	28 名
3 学年	33 名	32 名

3) 年間授業日数

前期	4 月～9 月	100 日
後期	10 月～3 月	100 日

4) 主要行事

令和 6 年	4 月 3 日	始業式
	4 月 4 日	入学式
	4 月 26 日	交流会
	7 月 27 日・29 日	オープンキャンパス
	10 月 3 日	推薦・社会人入学試験
	10 月 11 日	防災訓練
令和 7 年	12 月 19 日	戴帽式 戴帽生 27 名
	1 月 15 日	一般入学試験（A 日程）
	2 月 16 日	看護師国家試験
	2 月 20 日	一般入学試験（B 日程）
	3 月 7 日	卒業式授与 卒業生 32 名（講堂）
	3 月 11 日	終業式

5) 定例会議

1. 3 週間に 1 回 金曜日 教務会議
2. 隔月第 2 月曜日 学校委員会・学校運営会議
3. 毎月第 1 木曜日 管理職会議
4. 年 3 回 まつもと医療センター実習指導者会議

2. 学生研修

令和6年	7月5日	2年生	マイナビ講座
	9月10日	1年生	年金セミナー
	10月7日	1年生	親睦会
	10月18日	2年生	親睦会
	11月8日		長野県看護学生看護研究発表会
	2月17日	3年生	親睦会

3. 職員研修

令和6年	4月16日	東京アカデミー看護師国家試験対策オンラインセミナー 参加者：遠藤・増沢
	4月20日	長野県看護教育研究会総会・講演会 参加者：浅川・海川・遠藤・大島・武田・中野・原・益子・福岡
	5月21日	長野県看護教育研究会理事会 参加者：福岡
	7月19日	長野県看護教育研究会地域・在宅看護論分科会 参加者：原
	7月31日	長野県看護教育研究会小児看護学分科会 参加者：浅川
	8月6日	長野県看護教育研究会基礎看護学分科会 参加者：大島・武田
	8月10日	長野県看護教育研究会夏研究 参加者：海川・遠藤・大島・武田・中野・原・増沢・福岡
	8月21日	長野県看護教育研究会母性看護学分科会 参加者：中野
	8月22日	長野県看護教育研究会精神看護学分科会 参加者：増沢
	9月17日	長野県看護教育研究会成人老年看護学分科会 参加者：遠藤・福岡
	9月28日	長野県看護教育研究会秋研修 参加者：海川・遠藤・大島・佐藤・武田・原・増沢・福岡
	10月8日	長野県看護教育研究会理事会 参加者：福岡
	11月26日	看護師国家試験合格のために今からできる対策と学生指導 参加者：海川・遠藤・大島・佐藤・武田・中野・原・増沢
	11月27日	感染症対策人材養成研修 参加者：遠藤・佐藤
	12月2日	看護師等養成所のDX化推進教育研修会 参加者：福岡
	12月9日	日本看護学校協議会 副学校長・教務主任会 参加者：福岡
	3月10日	長野県看護教育研究会理事会 参加者：福岡

4. まとめ

本校の使命である「地域社会に貢献し得る看護専門職の育成」の実現に向け、2024年度に取り組んだ課題とその対応について、以下の4点に整理し報告いたします。

【課題①：学生確保】

少子化・看護系志望者の減少を背景に、安定的な入学者の確保が喫緊の課題である。

2024年度は定員割れでのスタートとなった。2025年度の定員充足に向けて、以下の3つの取り

組みを実施した。

- ① 過去問の閲覧を希望者に提供
- ② 推薦入学枠の拡大（若干名→定員の 50%）
- ③ 一般入試の受験科目を「国語・数学・英語」→「国語・数学」に変更

受験者数には大きな変化は見られず、今年度の施策がどの程度浸透していたのかを評価・検証する必要がある。また、今後の少子化を見据え、社会人の受験者を増やす施策の強化も求められる。

【課題②：看護専門職としての育成】

知識・技術・態度の 3 要素をバランスよく育成できる教育体制の整備が必要である。

2023 年度までは複数担任制を採用していたが、担任の業務負担が大きく、2024 年度より担任制を廃止。

知識・技術・態度の 3 分野ごとに教員チームを分け、指導体制を再構築した。これは初の試みであり、試行錯誤の段階であるが、次年度に向けて各チームが計画を見直し、支援体制の強化を図る予定である。

さらに、2024 年度は国家試験の全員合格が達成されなかった。不合格となった学生には、以下のような共通点が見られた。

- ・低学年から成績不良であった
- ・学内でのつながりが希薄であった
- ・新カリキュラムの学年であり、授業と実習が並行していたため国家試験対策に十分な時間が取れなかった
- ・実習先での技術経験が十分でなかった

今後は、学力面だけでなく学生支援の強化、実習病院との連携調整の強化、低学年からの国家試験意識の形成が求められる。

【課題③：教員の確保・定着】

看護教育における世代交代が進む中、安定した人材確保と定着支援が必要である。

近年、看護師としての臨床経験はあるが、教育現場での経験がない教員が増えている。また、教員の約半数が子育て中であり、限られた時間の中で授業と実習指導の両立を求められる実情がある。

ベテラン教員が行っていた経験知・暗黙知による対応は、若手教員には通用しにくく、業務の標準化が課題である。

2024 年度は以下のような改善を行った：

- ・領域を数年ごとに変更していた従来の体制を見直し
- ・教育の質への影響と教員負担軽減を考慮し、**経験のある領域を長期的に担当する体制**に変更した

引き続き、教員の定員充足に向けた募集活動とともに、現職教員が末永く勤務できる環境づくりを進めていく。

【課題④：教育 DX・ICT 活用】

教育の質の維持・向上と教職員の負担軽減のため、ICT 導入を段階的に進める必要がある。

2025 年度より、使用していたデジタル教科書会社を変更。これは次のような理由による：

- ・デジタル特有のシステム不具合への対応が遅かった
- ・助産師課程等への進学希望者に必要な内容が十分に網羅されていなかった

これは教育の質を重視した判断であり、今後の DX 化に向けた第一歩である。

一方で、現在も授業資料やワークシートは紙媒体が中心であり、学生との情報共有や業務効率化の観点から、配布物や指導資料のデジタル化を段階的に進めていく必要がある。

5. 総 括

担当理事 小 林 辰 也

令和 6 年度における松本市医師会看護学校の運営は、「地域社会に貢献し得る看護専門職の育成」という本校の使命のもと、多岐にわたる課題に取り組んだ一年となった。入学者数確保に向けては、推薦入試枠の拡大や入試科目の見直しを行い、社会人受験者の増加を見据えた施策の必要性も認識した。学生指導体制については、従来の複数担任制を廃止し、「知識・技術・態度」の 3 分野別チームによる新たな体制を導入。国家試験では全員合格に至らなかったものの、早期からの学力支援や実習先との連携強化など、今後の改善点が明確となった。

また、教員の確保と定着支援にも注力し、従来の領域交代制を見直し、経験のある専門領域に長期的に関わる体制へと移行した。若手教員の育成と業務の標準化を進める中で、勤務環境整備の重要性も再確認された。さらに、教育 DX の第一歩として、デジタル教科書の切り替えを実施し、今後の ICT 活用に向けた基盤整備も進めた。資料や情報のデジタル化も段階的に推進する必要がある。

年間を通じて、学生の成長支援、職員の専門性向上、教育環境の整備といった多方面で前向きな取り組みを行ってきた。それらの効果についての評価にはまだしばらくの時間が必要ではあるが、今後も地域の期待に応える看護師育成を目指し、持続可能な教育体制の構築に努めていきたい。

松本市医師会主要行事

<令和6年>

4月 1日 (月)	職員辞令交付式、管理職会議
4月 2日 (火)	産保センター健康相談
4月 3日 (水)	看護学校始業式、学術委員会
4月 4日 (木)	看護学校入学式、産保センター健康相談
4月 5日 (金)	会計事務所現金監査、救急災害医療委員会
4月 8日 (月)	看護学校委員会(Web)
4月 9日 (火)	保険委員会、産保センター健康相談
4月10日 (水)	検査検診委員会
4月11日 (木)	産保センター健康相談
4月12日 (金)	理事会
4月15日 (月)	胃集検A
4月16日 (火)	第275回循環器カンファレンス、産保センター健康相談
4月17日 (水)	広報委員会
4月18日 (木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
4月22日 (月)	会計事務所本監査、子宮がん検診検討会、胃集検B
4月23日 (火)	会計事務所本監査、学校保健衛生委員会、中学生ピロリ菌検査検討委員会実務者会議、産保センター健康相談
4月24日 (水)	感染症対策委員会
4月25日 (木)	第938回生涯教育講座(第34回 Web Lecture)、産保センター健康相談
4月26日 (金)	理事会
4月27日 (土)	(貸)長野県小児科医会役員会
5月 1日 (水)	学術委員会
5月 2日 (木)	管理職会議
5月 7日 (火)	救急災害医療委員会
5月 8日 (水)	検査検診委員会、肺がん読影、産保センター健康相談
5月 9日 (木)	産保センター健康相談
5月10日 (金)	理事会
5月11日 (土)	保険説明会
5月13日 (月)	医療連携委員会、胃集検A
5月14日 (火)	保険委員会、産保センター健康相談
5月15日 (水)	広報委員会、松本・大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会小委員会
5月16日 (木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
5月17日 (金)	第1回松本市医療救護訓練実行委員会
5月18日 (土)	第133回中信医学会
5月19日 (日)	令和6年度中信地区医師会親善ゴルフ大会(松本C.C)
5月20日 (月)	監事監査会、心臓検診検討会、松本・大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会総会、胃集検B
5月21日 (火)	経済委員会、産保センター健康相談
5月22日 (水)	感染症対策委員会、肺がん読影
5月23日 (木)	第939回生涯教育講座(第35回 Web Lecture)、園保健懇談会準備会、産保センター健康相談
5月24日 (金)	理事会
5月25日 (土)	日医認定産業医(基礎・生涯)研修会
5月27日 (月)	第1回MC事後検証会、胃集検A
5月28日 (火)	学校保健衛生委員会、在宅医療推進フォーラム第1回実行委員会、松本介護

	連携会・松本市医師会懇談会
5月29日(水)	内科医会幹事会、肺がん読影
5月30日(木)	産保センター健康相談
6月 3日(月)	心臓検診検討会、胃集検B
6月 4日(火)	経済委員会、産保センター健康相談
6月 5日(水)	学術委員会、産保センター健康相談、肺がん読影
6月 6日(木)	管理職会議、産保センター健康相談
6月 7日(金)	救急災害医療委員会
6月 8日(土)	第78回定時総会・懇親会
6月10日(月)	看護学校委員会、胃集検A
6月11日(火)	保険委員会、産保センター健康相談
6月12日(水)	検査検診委員会、肺がん読影
6月13日(木)	ドクターカー等管理運営委員会、メディカルコントロール委員会、産保センター健康相談
6月14日(金)	理事会
6月17日(月)	心臓検診検討会、胃集検B
6月18日(火)	学校検尿検討会、産保センター健康相談
6月19日(水)	広報委員会、肺がん読影
6月20日(木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
6月22日(土)	夜間急病センター拡大実務者会議
6月24日(月)	新型インフルエンザ・新興感染症対策委員会、胃集検A
6月25日(火)	第1回教育フォーラム準備会、学校保健衛生委員会
6月26日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影
6月27日(木)	第940回生涯教育講座(第36回Web Lecture)、産保センター健康相談
6月28日(金)	理事会
7月 1日(月)	心臓検診検討会、救急・災害医療検討委員会、胃集検B
7月 2日(火)	産保センター健康相談
7月 3日(水)	学術委員会、肺がん読影
7月 4日(木)	学校検尿検討会、管理職会議、産保センター健康相談
7月 5日(金)	救急災害医療委員会
7月 8日(月)	胃集検A
7月 9日(火)	保険委員会、産保センター健康相談
7月10日(水)	検査検診委員会、肺がん読影
7月11日(木)	保育園・幼稚園保健懇談会、第941回生涯教育講座(第37回Web Lecture)、産保センター健康相談
7月12日(金)	理事会、学校検尿検討会
7月16日(火)	第2回松本市医療救護訓練実行委員会、胃集検B
7月17日(水)	広報委員会、肺がん読影
7月18日(木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
7月22日(月)	松本市小児科・内科夜間急病センター運営協議会、胃集検A
7月23日(火)	学校保健衛生委員会、産保センター健康相談
7月24日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影
7月25日(木)	松本広域圏救急災害医療協議会総会、リビングウィルを考える会、産保センター健康相談
7月26日(金)	理事会、看護学校特別講演会
7月27日(土)	3S会、看護学校オープンキャンパス
7月29日(月)	看護学校オープンキャンパス、胃集検B、産保センター健康相談
7月31日(水)	肺がん読影、産保センター健康相談

8月 1日 (木)	医療連携委員会、肺がん検診検討会、管理職会議
8月 2日 (金)	救急災害医療委員会、会計監査
8月 5日 (月)	胃集検A
8月 6日 (火)	松本市地域包括医療協議会幹事会・総会、消化器検診検討会
8月 7日 (水)	学術委員会、医療救護訓練打合せ会、地域包括ケア研究会実務者会議、肺がん読影
8月 8日 (木)	老人保健委員会、郡市医師会准看学院長・看護専門学校長合同会議、産保センター健康相談
8月 9日 (金)	理事会
8月19日 (金)	外科整形外科医会(アルピコプラザホテル)、長野県在宅医療推進フォーラム 第2回実行委員会、第1回地域包括ケア研究会準備会、胃集検B
8月20日 (火)	第3回松本市医療救護訓練実行委員会、松本市医療救護訓練全体説明会、 リビングウィルを考える会
8月21日 (水)	広報委員会、肺がん読影
8月22日 (木)	内科医会総会(アルピコプラザホテル)、産保センター健康相談
8月23日 (金)	理事会
8月26日 (月)	第2回MC事後検証会、胃集検A
8月27日 (火)	学校保健衛生委員会、第2回教育フォーラム準備会、産保センター健康相談
8月28日 (水)	感染症対策委員会、肺がん読影
8月29日 (木)	産保センター健康相談
9月 1日 (日)	松本市医療救護訓練(中止)
9月 2日 (月)	予防接種懇談会、松本広域・合同委員会(Web)、胃集検B
9月 3日 (火)	経済委員会、産保センター健康相談
9月 4日 (水)	学術委員会、肺がん読影
9月 5日 (木)	会計監査、管理職会議、産保センター健康相談
9月 6日 (金)	救急災害医療委員会
9月 9日 (月)	第28回救急病院等の医師・看護師及び救急隊員等との意見交換会、胃集検A
9月10日 (火)	看護学校委員会(Web)
9月11日 (水)	検査検診委員会、肺がん読影
9月12日 (木)	保険委員会(桜家)、産保センター健康相談
9月13日 (金)	理事会
9月17日 (火)	予防接種勉強会、胃集検B
9月18日 (水)	広報委員会、肺がん読影
9月19日 (木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
9月24日 (火)	学校保健衛生委員会、胃集検A
9月25日 (水)	感染症対策委員会、肺がん読影
9月26日 (木)	第942回生涯教育講座(第38回Web Lecture)、産保センター健康相談
9月27日 (金)	理事会
9月30日 (月)	令和6年度役員・正副参与・正副委員長懇談会(梅風閣)、胃集検B
10月 2日 (水)	会計監査、学術委員会、肺がん読影
10月 3日 (木)	看護学校 推薦・社会人入試、管理職会議、第2回地域包括ケア研究会実務者 会議、産保センター健康相談
10月 4日 (金)	救急災害医療委員会
10月 7日 (月)	胃集検A
10月 8日 (火)	保険委員会
10月 9日 (水)	検査検診委員会、肺がん読影
10月10日 (木)	産保センター健康相談
10月11日 (金)	本会職員・看護学校総合避難訓練、理事会

10月15日(火)	胃集検B
10月16日(水)	広報委員会、肺がん読影
10月17日(木)	看護学校 推薦・社会人入試選考会議、学校保健懇談会、城山老健月例運営会議、老人保健委員会
10月18日(金)	第4回松本市医療救護訓練実行委員会
10月21日(月)	胃集検A
10月22日(火)	学校保健衛生委員会
10月23日(水)	松本市小児科・内科夜間急病センター実務者会議、肺がん読影
10月24日(木)	第943回生涯教育講座(第39回Web Lecture)、産保センター健康相談
10月25日(金)	理事会
10月26日(土)	乳房集団検診研修会
10月28日(月)	JMATロジスティック協議会、在宅医療推進フォーラム第3回実行委員会、第2回地域包括ケア研究会準備会、胃集検B
10月29日(火)	心臓検診検討会、産保センター健康相談
10月30日(水)	肺がん読影
10月31日(木)	会計監査、産保センター臨時健康相談
11月1日(金)	救急災害医療委員会
11月2日(土)	第22回子どものこころとからだの問題を考える～学校関係者と学校医のつどい～(Mウィング)
11月5日(火)	胃集検A
11月6日(水)	学術委員会、肺がん読影
11月7日(木)	管理職会議
11月8日(金)	理事会
11月9日(土)	(貸)長野産業保健総合支援センター石綿研修会、(貸)長野県小児科医会役員会
11月11日(月)	胃集検B、産保センター健康相談
11月12日(火)	保険委員会、会計監査、産保センター健康相談
11月13日(水)	検査検診委員会
11月14日(木)	第944回生涯教育講座(第40回Web Lecture)、産保センター健康相談
11月18日(月)	五條天神祭(筑摩神社)、十八日会(アルピコプラザホテル)、胃集検A
11月19日(火)	第277回循環器カンファレンス
11月20日(水)	広報委員会、肺がん読影
11月21日(木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
11月22日(金)	理事会
11月25日(月)	第3回MC事後検証会、胃集検B
11月26日(火)	学校保健衛生委員会、産保センター健康相談
11月27日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影、(貸)リビングウィルを考える会
11月28日(木)	医療連携委員会、産保センター健康相談
11月29日(金)	各種がん検診検討会連絡会
11月30日(土)	長野県在宅医療推進フォーラム
12月2日(月)	会計監査、胃集検A
12月3日(火)	経済委員会
12月4日(水)	学術委員会、肺がん読影
12月5日(木)	本館職員・理事忘年会、管理職会議、産保センター健康相談
12月6日(金)	救急災害医療委員会
12月9日(月)	看護学校委員会、胃集検B
12月10日(火)	保険委員会、産保センター健康相談
12月11日(水)	検査検診委員会、内科医会幹事会、肺がん読影
12月12日(木)	産保センター健康相談

12月13日(金)	理事会
12月15日(日)	(貸)長野県小児科医会総会・学術セミナー
12月16日(月)	胃集検A
12月17日(火)	医療救護訓練実行委員会幹事会
12月18日(水)	広報委員会、肺がん読影
12月19日(木)	老人保健委員会、看護学校 戴帽式、産保センター健康相談
12月20日(金)	(貸)災害医療に関する研修会
12月23日(月)	胃集検B
12月24日(火)	産保センター健康相談
12月25日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影
12月26日(木)	産保センター健康相談
12月27日(金)	理事会
12月29日(日)	
～31日(火)	年末休業

<令和7年>

1月 1日(水)	
～3日(金)	年始休業
1月 6日(月)	新年仕事始め式、管理職会議
1月 7日(火)	会計監査、産保センター健康相談
1月 8日(水)	検査検診委員会、肺がん読影
1月 9日(木)	産保センター健康相談
1月10日(金)	理事会
1月14日(火)	保険委員会、胃集検A
1月15日(水)	広報委員会、看護学校 一般入試A、肺がん読影、産保センター健康相談
1月16日(木)	城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
1月18日(土)	産業医基礎・生涯研修会
1月20日(月)	医療安全支援センター情報交換会、胃集検B
1月21日(火)	第278回循環器カンファレンス
1月22日(水)	感染症対策委員会、看護学校 入試選考会議、交通安全祈願祭、肺がん読影
1月23日(木)	産業保健衛生委員会、産保センター健康相談
1月24日(金)	理事会、地域医療構想事前レク
1月27日(月)	特定健診等検討会議、胃集検A
1月28日(火)	学校保健衛生委員会、産保センター健康相談
1月29日(水)	肺がん読影
1月30日(木)	産保センター健康相談
2月 1日(土)	(貸)3S会
2月 3日(月)	産保センター健康相談、胃集検B
2月 4日(火)	会計監査、丸の内消防署「会館警防計画策定」調査、経済委員会
2月 5日(水)	予防接種懇談会、学術委員会、肺がん読影
2月 6日(木)	第9回学校医大会、耳鼻咽喉科当番医体制 Web 会議、管理職会議、 産保センター健康相談
2月 7日(金)	救急災害医療医委員会
2月10日(月)	保険委員会、胃集検A
2月12日(水)	検査検診委員会、肺がん読影
2月13日(木)	第945回生涯教育講座(第41回 Web Lecture)、産保センター健康相談
2月14日(金)	理事会
2月17日(月)	松本産業保健連絡協議会及び松本地域産業保健センター運営協議会、胃集検B

2月18日(火)	産保センター健康相談
2月19日(水)	広報委員会、肺がん読影
2月20日(木)	看護学校 一般入試B、城山老健月例運営会議、老人保健委員会、産保センター健康相談
2月21日(金)	肺がん検診検討会
2月25日(火)	看護学校 入試B選考会議、看護学校委員会、学校保健衛生委員会、胃集検A
2月26日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影
2月27日(木)	災害医療勉強会、第6班班会、市保健所衛生検査所立入検査、産保センター健康相談
2月28日(金)	理事会
3月 3日(月)	第7班班会、在宅医療勉強会、胃集検B
3月 4日(火)	経済委員会、産保センター健康相談
3月 5日(水)	会計監査、学術委員会、肺がん読影
3月 6日(木)	臨時理事会(予算案)、管理職会議、産保センター健康相談
3月 7日(金)	看護学校 卒業式、救急災害医療委員会
3月10日(月)	予防接種勉強会、胃集検A
3月11日(火)	看護学校 終業式、保険委員会
3月12日(水)	検査検診委員会、肺がん読影
3月13日(木)	乳がん検診検討会、城山老健月例運営会議、老人保健委員会
3月14日(金)	第3回松本市在宅医療・介護連携委員会、理事会
3月17日(月)	医療救護訓練幹事会、胃集検B
3月18日(火)	松本市医師会臨時総会(役員選挙)
3月19日(水)	看護学校 講師会、広報委員会、肺がん読影
3月21日(金)	被選理事会
3月24日(月)	胃集検A
3月25日(火)	学校保健衛生委員会
3月26日(水)	感染症対策委員会、肺がん読影
3月27日(木)	第946回生涯教育講座((第42回 Web Lecture)
3月28日(金)	理事会
3月31日(月)	胃集検B